

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託（梅木川支川）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 橋梁・高架

ボーリング名	B-2-No. 2	調査位置	広島県呉市大山町地内	北 緯	34° 16' 33.5291"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	2020年 12月 15日 ~ 2020年 12月 17日	東 経	132° 31' 29.3924"
調査業者名		主任技師		現 場 代 理 人	
コ ー ア 確 定 者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 76.05m	角 度		方 位	
地盤勾配		使用機種	試験機	東邦D1	
総削孔長	12.00m	エンジン	ポンプ	ヤンマー-NFD-12	東邦BG-3

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	地 質 時 代 名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室 原 位 置 試 験	削 孔 月 日			
												深度-N値図									深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量
1	75.45	0.60	礫混じり砂	礫混じり砂		暗褐	rd1		新生代第四紀	表層0.1m、表土、径50mm未満の角礫を混入する砂。木草根混じる。	12/16 3.14	11	1.15	1	3	7	11	300				12/16	
2				玉石混じり砂礫		淡灰褐	rd3		新生代第四紀	コア長5~50cmの玉石が多く混じる砂礫。基質は径50mm未満の垂角礫と粗砂主体。玉石は非常に硬質。礫種は花崗岩、花崗斑岩、流紋岩が主体。基質は粘土分を少量含有し深度方向に徐々に締まりは良くなる。	12/17 6.50	10	2.20	3	5	2	10	300				12/16	
3												24	3.15	3	9	12	24	300				12/16	
4												23	4.15	7	9	7	23	300				12/16	
5												107	5.70	7	43	50	140					12/16	
6	69.60	6.45										40	6.94	10	17	13	40	300				12/16	
7				風化花崗岩		淡灰褐			中生代白亜紀	粗粒花崗岩の風化部(軟岩1)。DH級。岩組織は明瞭に硬すが風化著しい。コアは柱状を呈するが指圧で容易にマサ状に崩せる。深度10.15m以深、軟質な柱状コア。ハンマー軽打で容易に砕ける。		52	7.15	12	19	19	50	290	290				12/16
8												88	8.15	21	29	70	50	170	170				12/16
9												150	9.10	50		50	100	100					12/16
10												100	10.00	32	18	50	150	150					12/16
11	65.05	11.00		風化花崗岩		淡褐灰				軟質な柱状コア主体(軟岩1)。CL級。コア側は非常に粗くハンマー軽打で砕ける。深度11.75m以深、割れ目の多い硬質な柱状コア。		750	11.00	50	20	50	20	20					12/17
12	64.05	12.00											12.00	貫入不能		50	0						12/17